

「日本博」の主な企画案（概要）

平成30年12月17日現在、以下のような企画案を検討中（今後の検討、調整などの結果、変更になることがある）

《美術・文化財》

企画（案）	概要
日本の美、日本人と自然をテーマとした美術品、国宝・重要文化財展示（仮）	○日本の美、日本人と自然を表現した縄文から近代までの代表的な美術品、国宝・重要文化財等の絵画、彫刻、工芸、書などを紹介。京都、九州、その他地域での実施を検討中。
「日本の美－工芸と自然－」（仮称）	○素材や技法に工夫を重ねつつ、伝えられてきた日本の工芸、現代を代表する作家から若手作家までの作品をデザイン性の高い空間で展示し、その素晴らしさを伝える。訪日外国人向け体験等も企画。 ○石川県をはじめとした地方での実施も検討中。
日本の建物模型の展示、文化財の保存技術の体験（仮称） 文化財建造物の修理現場（仮称）	○日本の伝統建築から近現代建築までの模型展示や、修理・彩色などの日本の自然の素材を活用した伝統的な匠の技を体験する展覧会を企画。 ○国宝・重要文化財の建物修理現場一斉公開を全国で実施。大工、屋根葺替、左官等の自然の素材を生かした技術や歴史的背景、生活様式を紹介。

《舞台芸術》

企画（案）	概要
「日本の伝統芸能まつり」（仮称）	○歌舞伎、能狂言、文楽、日本舞踊、琉球舞踊等の公演を、各ジャンルの人間国宝など最高の出演者が一堂に会し短時間で行うショーケースのような形で、我が国の「自然」を表現する舞台を企画。
Discoverシリーズ（歌舞伎・能・文楽等）（外国人のための体験公演）	○訪日外国人を対象に、多言語サイトの開設、多言語化した音声ガイド・字幕表示及びデジタルコンテンツによる解説で、日本の四季を題材にした歌舞伎、文楽、能楽及び組踊などの公演を企画。

《メディア芸術》

企画（案）	概要
「MANGA都市TOKYO ニッポンのマンガ・アニメ・ゲーム・特撮」（仮称）	○日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮に描かれたTOKYOの自然、歴史、風土、文化を江戸時代から現代まで紹介。2018年パリで開催されている展覧会を再構築し、約90タイトルの貴重な原画類、映像、都市模型などにより構成。展示によるTOKYO観光ガイドとしても楽しめる企画。

《生活文化・文芸・音楽》

企画（案）	概要
「詩を謡い、奏で、舞う」 （仮称）	○日本の四季折々の自然や風俗を表現している詩歌を選歌、作曲・作詞をした上で邦楽を演奏し、舞踊、朗読形式で上演。第1部は「万葉集」「新古今和歌集」、第2部は近世の文豪（谷崎潤一郎、川端康成など）の作品を検討中。

《食文化・自然》

企画（案）	概要
「国立公園展」（仮称）	○四季折々に変化する国立公園の多様で豊かな日本の自然を絵画、標本資料、画像などにより科学的、文化芸術的な側面から紹介。同時に博物館内で、全国の国立公園への誘客を図る。
「日本の食」（仮称）	○日本の自然の恵みによる多彩な食材等を多角的に紹介するとともに、日本の食の過去・未来を考察する体験や、全国の地域食、日本の弁当文化体験などを提供。

《デザイン・ファッション》

企画（案）	概要
「日本のファッション、デザイン展」（仮称）	○日本の戦後ファッションの歴史を辿る初めての大展覧会を企画。21世紀になってからの最新の動向も紹介。日本のファッション・デザイナーが「自然との関わり」から着想を得た「創造性」や「革新性」を切り口に展覧会等を検討中。

《共生社会・多文化共生》

企画（案）	概要
「ここから4－障害と共生を考える5日間」展（仮称）	○障害・感覚・年齢などをテーマとし、アートを通じて共生社会を考える機会となるよう、障害のある方たちが制作した魅力ある作品等を展示し、あらゆる人々にとって新たな意識、「生き方の創造」につなげていく作品を紹介。

《被災地復興》

企画（案）	概要
被災地における民俗芸能 （仮称）	○各地の風土と生活の中で生まれ、地域の人々によって歴史的に育まれてきた全国の民俗芸能を各地で実施。さらに、博物館などで民俗芸能の公演を実施し、被災地の民俗芸能の復興をアピール。

《総合型》

企画（案）	概要
アイヌ文化をテーマとした企画	○2020年4月にアイヌ文化復興のナショナルセンターとしてオープンする“民族共生象徴空間”をはじめ、北海道内各地において、“自然とともに生きるアイヌ文化”をテーマとした伝統芸能、食文化・生活文化などの体験型プログラムを開催。
総合大型プロジェクト（仮）	○一つの空間で国宝・重要文化財展示や、被災地も含めた全国の伝統芸能、衣食住の展示、体験型ワークショップ等が丸ごと楽しめる企画を検討中。 ○併せて全国各地での実施も検討予定。